

意見書

教 科
音楽

種 目
音楽

発 行 者
教育出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や楽器の基本的な演奏の仕方を、写真や「めざせ楽器名人」、「まなびナビ」等で示している。音楽を形づくっている要素（音楽のもと）についてもどのような工夫ができるか考える学習活動のヒントを「まなびナビ」で示している。 ・巻頭の学習マップでは、題材ごとにどのような学習活動を進めていくか、簡潔に読みやすく示されている。「もっとあそぼう」のコーナーを取り上げ、発展的な学習を例示している楽曲もある。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱の技能では、様々な唱法がまんべんなく扱われており、混声合唱は聴き比べる学習を通して学べるよう構成されている。低学年で、算数に関わる歌の掲載等、他教科との関連を重視している。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が見通しをもって学習を進めることができるよう、学びの手順が示されている。一人一人の児童が、表現の仕方を工夫する活動ができる。
2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・和楽器では、共通教材の学習の発展として琴の鑑賞ができるように構成されている。日本の音楽と世界の音楽を関連させた題材が多い。日本の音楽は、器楽を中心とした構成になっている。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・曲に関わる知識、各楽器の演奏の仕方について、より理解が深まるように、QRコードがあり、各自が参考にできる内容になっている。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年共通の楽曲を通して、手話や足踏みを取り入れた表現を加えて演奏できるよう掲載している。また全ての学年に、「Short Time Learning」で英語の歌を掲載している。 ・体全体を使って、音の高さや和音を表現する動的な学習活動が多く示されている。
3 印刷・製本等	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさはA B版 (211mm×260mm) ・ページ数は79～83ページ ・重量は、173g～192g
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・1ページの中に、楽譜が縦に表示されているので、演奏するときには一般的な楽譜と同じ見方ができるように構成されている。紙の質感は、ざらざらしていて滑りにくい。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭ページには、4年生から特集が掲載され、第一線で活躍している著名人によるメッセージが掲載されている。巻末には、リコーダーの運指表(3年生以上)や楽典の内容、音楽のもと(音楽を形づくっている要素)や、音楽を表すことばの例がまとめられている。 ・1年生から4年生までは、音楽のもとについてイラストを使って、分かりやすく掲載している。最終ページは、「につぼんのうた・みんなのうた」が見開きで掲載されている。

意見書

教 科
音楽

種 目
音楽

発 行 者
教育芸術社

調査項目	意 見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1) <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や楽器の基本的な演奏の仕方を、写真や「歌声ルーム」、「見つける」「歌う」「演奏する」「つくる」のアイコンやキャラクターの吹き出し等で分かりやすく示している。音楽を形づくっている要素については、「考える」のアイコンやキャラクターの吹き出し等で具体的に示している。 ・巻頭の学習マップでは、題材ごとにどのような学習活動を進めていくか、イラストを使って領域ごとに分かりやすく示され、1年間の学びの全体像がみえる。また、学習のまとめりごとに学びの振り返りやこれからの学習につなげていく内容を示している。
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ・合唱の技能では、発達段階を考慮したスモールステップで学べるよう構成されている。中学校の混声合唱を見据えて色々な合唱の響きを学習できるように構成されている。
	(3) <ul style="list-style-type: none"> ・児童が見通しをもって学習を進めることができるよう、学びの手順や学びを振り返る言葉掛けが示されている。一人一人児童が表現の仕方を工夫したり、仲間と共に協働的な活動をしたりすることができる。
2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1) <ul style="list-style-type: none"> ・琴が1つの題材で構成されており、「歌唱・器楽・創作」が関連して学習できるようになっている。日本の音楽は、歌唱を中心とした構成が多く、視点が詳しく掲載されている。
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ・曲に関わる知識、各楽器の演奏の仕方についてより理解が深まるように、QRコードが全学年共通の位置に掲載してあり、各自が参考にしたり、学びの過程を確かめたりする内容になっている。
	(3) <ul style="list-style-type: none"> ・2年生で、挨拶の手話を取り入れた楽曲を取り入れている。また、3年生から6年生までは、英語の歌を掲載している。 ・体全体を使って、歌詞や旋律をイメージした動きを取り入れた動的な学習活動が多く示されている。
3 印刷・製本等	(1) <ul style="list-style-type: none"> ・大きさはA B 版 (2 1 1 mm × 2 6 1 mm) ・ページ数は 8 3 ~ 8 7 ページ ・重量は、 1 7 1 g ~ 1 8 2 g
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカやリコーダーの導入では、見開きの横一列に表示されている箇所が多く、演奏する時に曲の流れが見やすい。紙の質感は、つるつるしていて違和感なく扱うことができる。
	(3) <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭ページには、3年生から特集が掲載され、学年の発達段階に応じたテーマで取り上げている。巻末には、リコーダーの運指表(3年生以上)や楽典の内容が記載されている。 ・振り返りのページとして、1年間で学んだ学習内容を、音楽を形づくっている要素ごとにまとめ、該当ページ数を記載して、既習事項を想起しやすいようにまとめられている。